

リフォーム用便器

アメージュV便器(リトイレ) 防露便器 BC-340S
ヒーター防露便器 HBC-340S

リトイレ便器 防露便器 BC-240S
ヒーター防露便器 HBC-240S

コンパクトリトイレ便器 防露便器 BC-250S
ヒーター防露便器 HBC-250S

注意

- この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。
- 施工後は必ず試運転を行ってください。
- お客さまに必ず本書と取扱説明書や保証書(ヒーター付便器の場合)をお渡しください。お渡しするときは、使用方法をご説明ください。

安全のために守ってください！

便器を安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けください。

用語の説明

警告 . . . 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。

注意 . . . 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

警告

本体や電源プラグに水や洗剤をかけないでください。

※ 感電・火災の恐れがあります。

(100V 電源使用の場合)



水かけ禁止

修理技術者以外の方は、分解したり修理・改造は行わないでください。

※ 感電・火災・ケガの原因になります。

(100V 電源使用の場合)



分解禁止

ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。

※ 感電の原因になります。

(100V 電源使用の場合)



ぬれ手禁止

バスルーム内など湿気が多い場所には、設置しないでください。

※ 感電・火災の原因となります。

(100V 電源使用の場合)



水場使用禁止

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っばったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。

※ 電源コードが破損し、感電・火災の原因になります。

(100V 電源使用の場合)



禁止

ガタついているコンセントは使用しないでください。

※ 感電・火災の原因になります。

(100V 電源使用の場合)



禁止

● 交流 100V 以外では使用しないでください。
● タコ足配線など定格をこえる使い方はしないでください。

※ 火災の原因となります。

(100V 電源使用の場合)



禁止

注意

陶器は割れものです。

- 施工前に輸送中の破損がないことを確かめてください。
- 施工後に施工段階での破損がないことを確かめてください。

※ 破損部でケガをしたり、漏水により室内浸水の原因になります。



指示実行

止水栓の調節と施工後の漏水点検を必ず行ってください。

※ 漏水し、室内浸水の原因になります。

(100V 電源使用の場合)



指示実行

お客さまにお渡りするまでに凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。

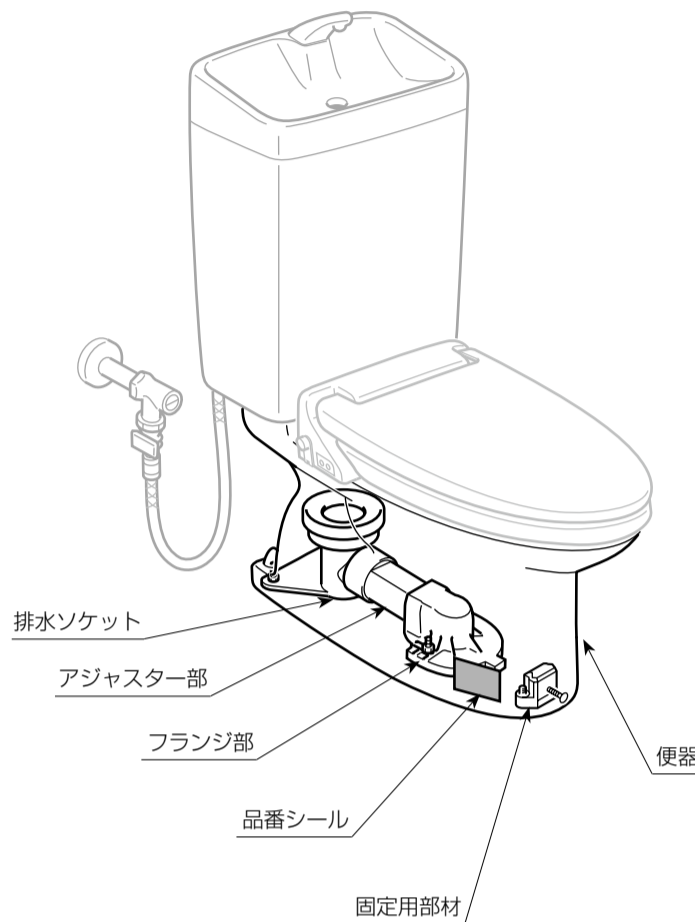
※ 凍結破損で漏水し、室内浸水の原因になります。

(100V 電源使用の場合)



指示実行

各部のなまえ

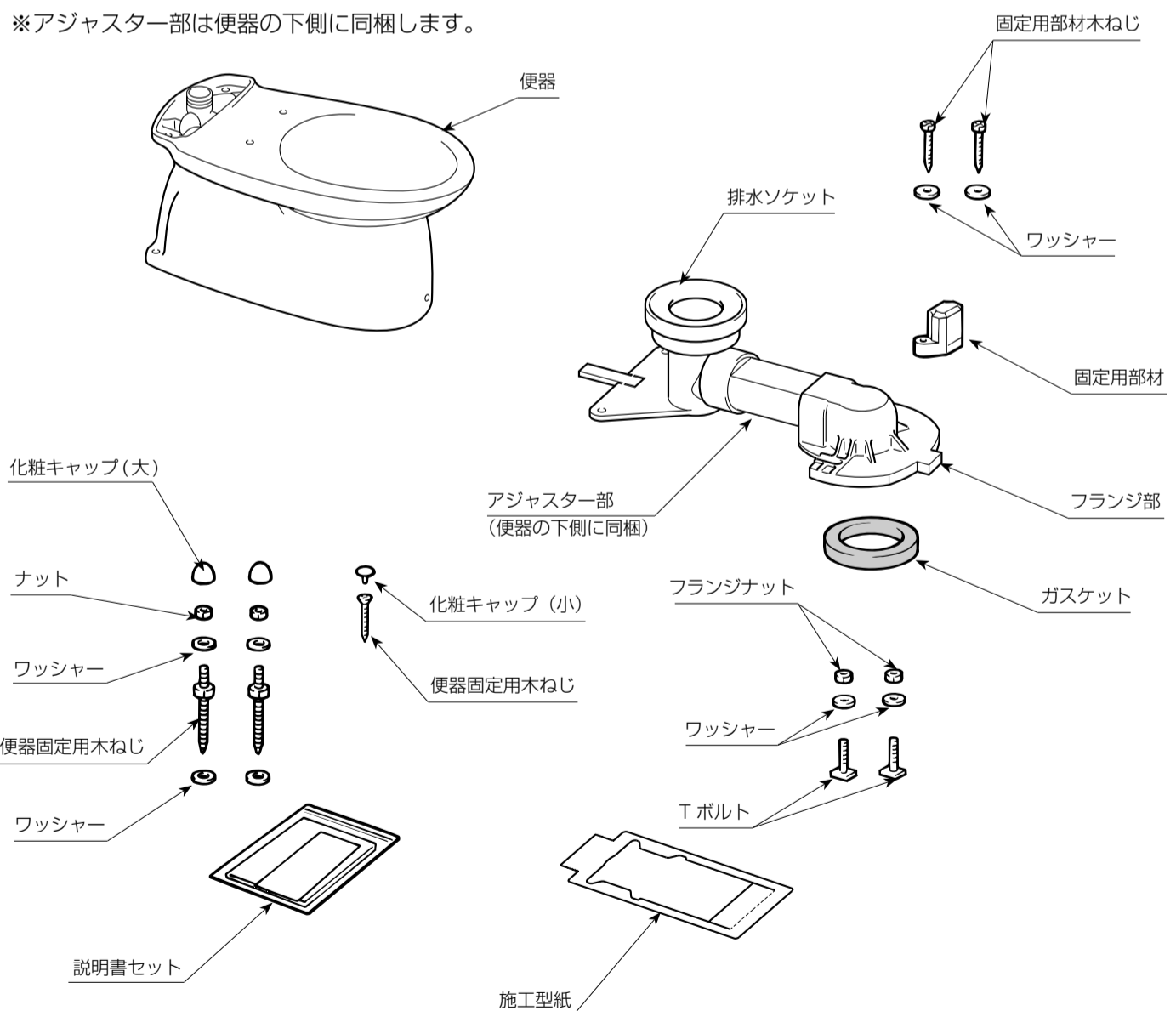


施工前の注意

- 便器、取替用止水栓、ロータンクの順序で施工を行ってください。また、施工方法は各施工説明書を参照してください。
- 手洗給排水統合仕様の場合は、別紙施工説明書と本施工説明書を併せてお読みいただき、便器の施工を行ってください。
- 収納一体型便器の場合は、収納一体型便器同梱の施工説明書と、本施工説明書を併せてお読みいただき、便器の施工を行ってください。

部品の確認 (梱包内容を確認してください。)

※ アジャスター部は便器の下側に同梱します。



商品・施工方法についてのお問い合わせは、(株) INAX お客様相談センター商品相談窓口 ナビダイヤル TEL 0570-017173

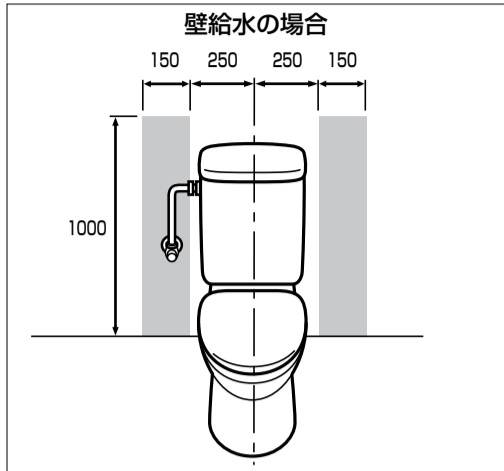
お客様相談センター商品相談窓口は、平日「9:00~19:00」対応、土日・祝日「10:00~18:00」対応(年末年始、夏期休暇は除く)となります。

※ ナビダイヤルは、PHS・IP電話などからはご利用できません。TEL 0562-31-0793 をご利用ください。

給水範囲

対応できる給水範囲と排水芯は下記ようになります。

取替止水栓は使用しない

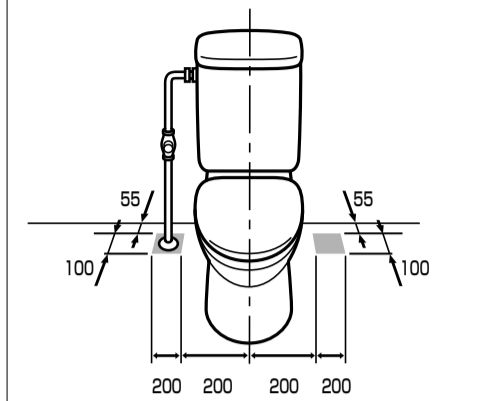


注意 1 参照

既存の止水栓、またはタンクセットに同梱の止水栓を使用します。

止水栓の向きは、接続時にホースが折れないように調節してください。

床給水の場合



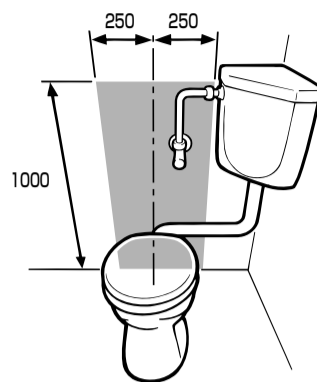
注意 1 参照

〈シャワートイレ〉
既存の止水栓、またはタンクセットに同梱の止水栓を使用します。

〈一般便器〉
既存の止水栓は使用できません。タンクセットに同梱の止水栓を使用します。

取替止水栓を使用する

壁給水で便器後方の場合

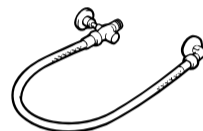


注意 1 参照

注意 2 参照

既存の止水栓ではタンク背面と止水栓が接触します。取替止水栓（別途手配）が必要です。

取替止水栓 (TF-3892ER)



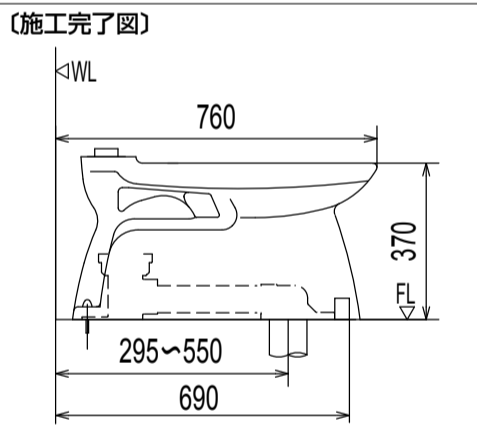
排水芯

●アメージュV便器 (リトイレ) の場合 BC-340S

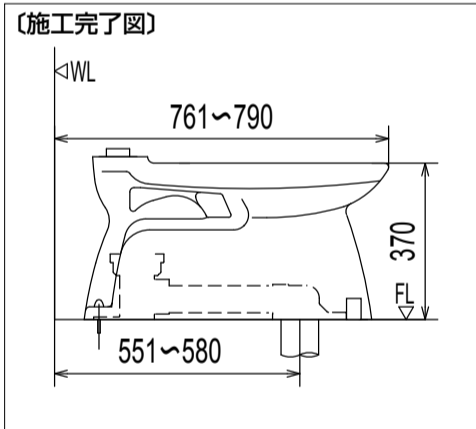
対応排水芯① 295 ~ 550mm

対応排水芯② 551 ~ 580mm

便器を前に出すことにより施工可能です。ただし、便器前出寸法は大きくなります。



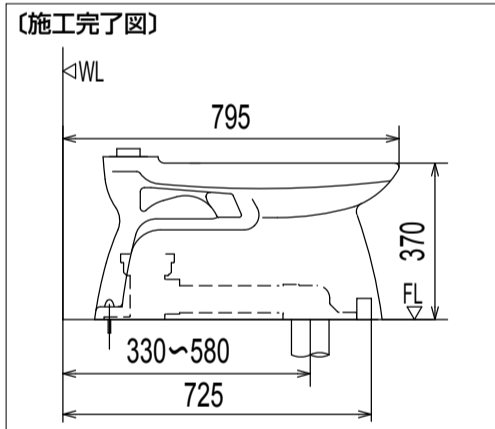
施工方法 **A-1** を行ってください。施工方法 **A-2** を行ってください。



●アメージュV便器 (リトイレ) の場合 BC-340S

便器を 35mm 前に出して施工します。

対応排水芯 330 ~ 580mm



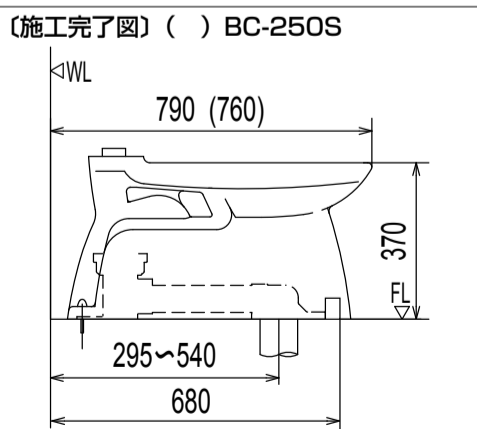
施工方法 **A-1** を行ってください。

●リトイレ便器、コンパクトリトイレ便器の場合 BC-240S、BC-250S

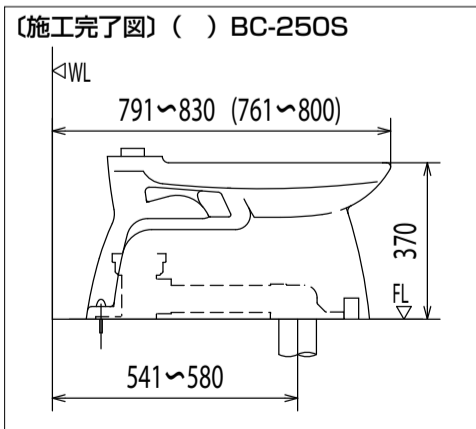
対応排水芯① 295 ~ 540mm

対応排水芯② 541 ~ 580mm

便器を前に出すことにより施工可能です。ただし、便器前出寸法は大きくなります。



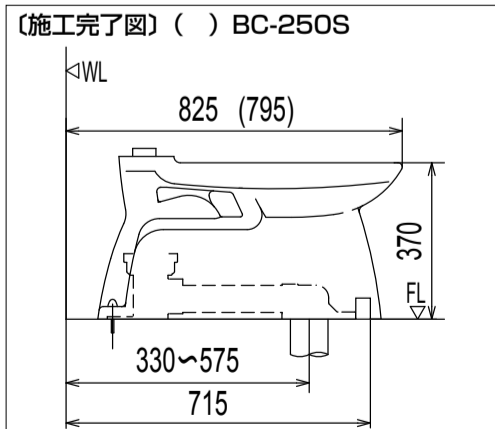
施工方法 **A-1** を行ってください。施工方法 **A-2** を行ってください。



●リトイレ便器、コンパクトリトイレ便器の場合 BC-240S、BC-250S

便器を 35mm 前に出して施工します。

対応排水芯 330 ~ 575mm



施工方法 **A-1** を行ってください。

注意 1

給水位置が [] 以外の場合、給水位置の変更が必要です。

注意 2

隅付ロータンクからの取替で、横側の壁に給水口がある場合や床給水の場合は、取替用止水栓での施工はできません。施工可能な位置に給水口を取り出してください。



参考

排水芯 120、200mm の対応方法
下記の方法でも対応できます。

●排水ソケット (CF-120SG) を別途手配してください。

固定用部材の位置決めは

排水芯 120mm : ミシン目 1

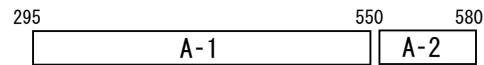
排水芯 200mm : ミシン目 2

でミシン目で折り、位置決めを行ってください。

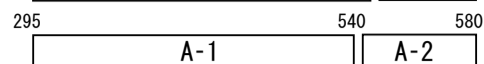
■排水芯により、施工方法が異なりますので、ご注意ください。

アメージュV便器（リトイレ）BC-340S

排水芯



リトイレ便器 BC-240S、コンパクトリトイレ便器 BC-250S 排水芯



取替用止水栓を使用する場合は、排水芯に関わらず **A-1** を行ってください。

施工方法

A-1

1. 固定用部材の位置決め

(1) 施工型紙をミシン目で折ります。

※取替用止水栓を使用しない場合：「2」

取替用止水栓を使用する場合：「5」

注意 3 参照

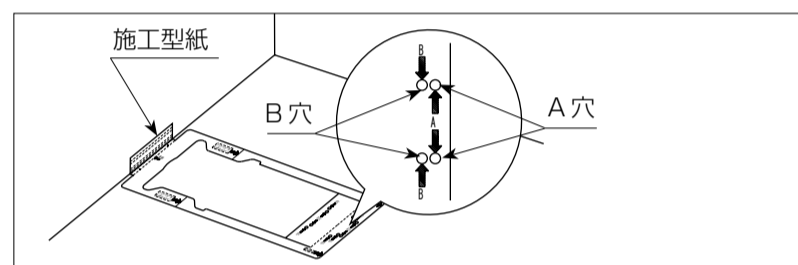
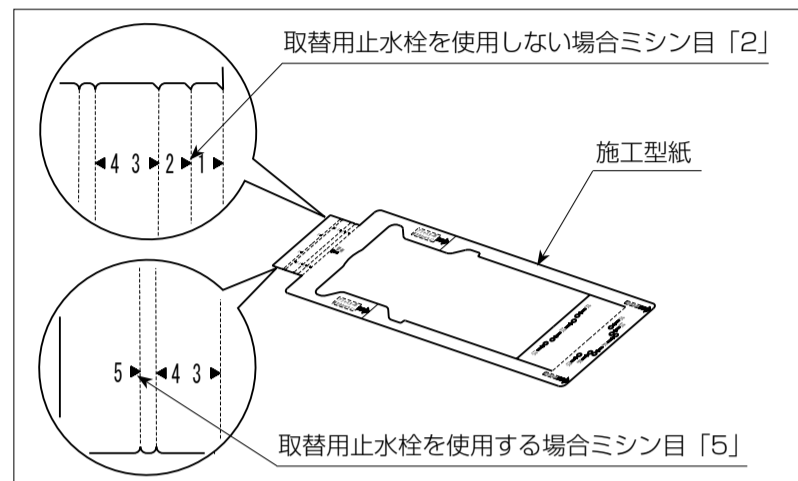
注意 4 参照



(2) 施工型紙を壁に当て、固定用部材取付穴を罫書きます。

※BC-340S : A 穴

BC-240,BC-250S : B 穴

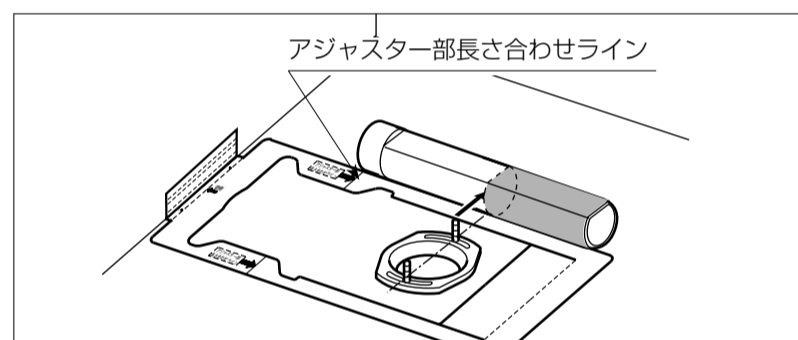


2. アジャスター部の切断

施工型紙の「アジャスター部長さ合わせライン」に、アジャスター部を右図のように合わせ、既設フランジの中心で切断します。

注意 5 参照

※謝ってアジャスター部を長く切った場合は、便器が壁寄りに設置されるため、タンクと壁が干渉して施工できない恐れがあります。



3. 排水ソケット・フランジ部の接着

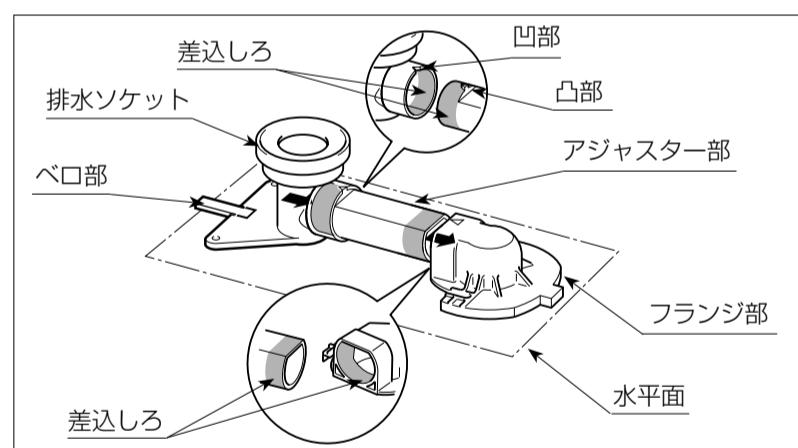
(1) 排水ソケット、アジャスター部、フランジ部の差込しるに接着剤を塗布し、各部材を接着します。

排水ソケットとアジャスター部の接続のときは、凹部と凸部を合わせてください。

注意 6 参照

注意 7 参照

(2) 排水ソケット後部のベロ部を切り取ります。



4. 排水ソケット・フランジ部・固定用部材の固定

(1) フランジ部の排水口にガスケットを付け、既存フランジにワッシャーとフランジナットで固定します。

注意 8 参照

注意 9 参照

(2) 排水ソケットをワッシャーと便器固定用木ねじで固定します。

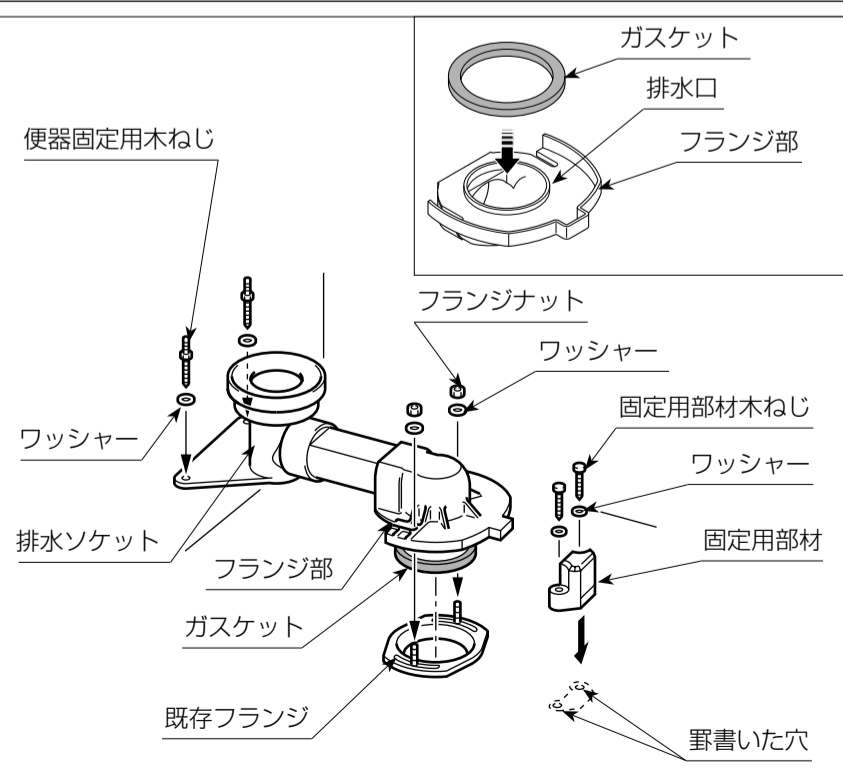
床がタイルまたはコンクリートの場合、下穴（径 11、深さ 55）をあけ、別売の AY ボルト（AY-86D）を使用します。

注意 9 参照

(3) 固定用部材を罫書いた位置に合わせ、ワッシャーと固定用部材木ねじで固定します。

床がタイルまたはコンクリートの場合、下穴（径 11、深さ 55）をあけ、別売の AY ボルト（AY-23W）を使用します。

B へ



注意 3

取替用止水栓を使用する場合と使用しない場合では、位置決め部の使用方法が異なりますのでご注意ください。

※使用方法を間違えると、施工不良の原因になります。

注意 4

収納一体型便器では「便器床固定部材の位置決め」の施工方法が異なりますので、収納一体型便器同梱の施工説明書を確認してください。

注意 5

●アジャスター部の切断は、必ずフランジ部側を切断してください。

※排水ソケット側を切断すると、漏水します。

●切断後、アジャスター部とフランジ部を、再度差し込んでアジャスター部の長さを確認してください。

また、このときアジャスター部に差込位置をマークし、接着時の参考にしてください。

※差込みが不十分ですと便器の取付位置がずれ、施工不良の原因になります。

注意 6

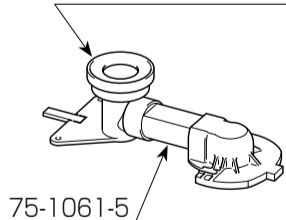
アジャスター部と排水ソケット・フランジ部の接着は、確実に行ってください。

※接着が不十分ですと漏水、臭気発生の原因になります。

注意 7

アジャスター部の切断・接着を間違えた場合には、以下の品番で手配してください。

CF-250SG（排水統合なし）
または
CF-250SGY（排水統合あり）



注意 8

既存フランジのボルト・ナット等が腐食している場合は、同梱の T ボルト、フランジナット、ワッシャーをご使用ください。

注意 9

排水ソケットを床へ固定する際には、床面の傾きや不陸にご注意ください。アジャスター部を逆勾配で設置すると、洗浄不良や詰まりの原因となります。

A-2

1. アジャスター部の切断

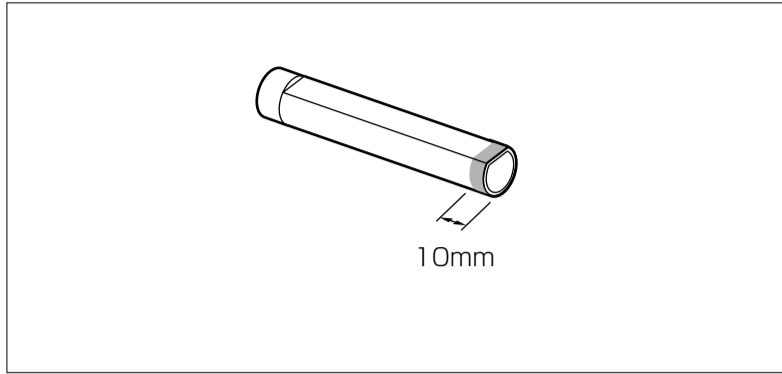
※BC-340S アメージュV 便器（リトイレ）は、この作業は必要ありません。「2」へお進みください。

アジャスター部を右図のように 10mm 切断します。

※このとき、切断する方向に注意してください。

※謝ってアジャスター部を長く切った場合は、便器が壁寄りに設置されるため、タンクと壁が干渉して施工できない恐れがあります。

注意 5 参照

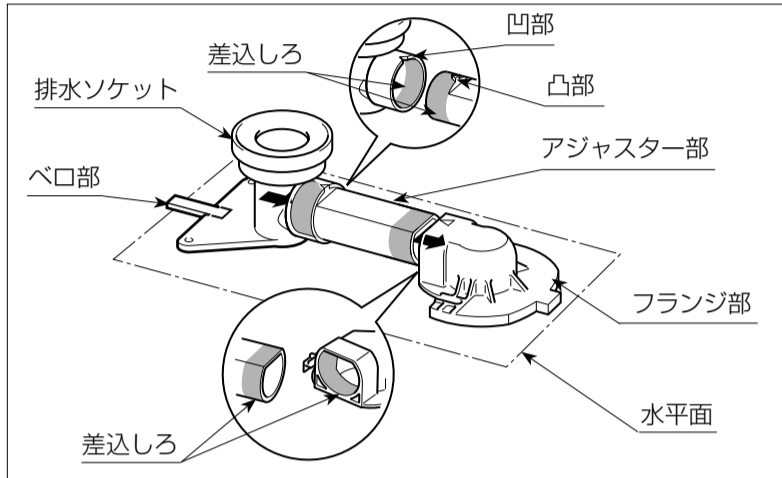


2. 排水ソケット・フランジ部の接着

(1)排水ソケット、アジャスター部、フランジ部の差込しるに接着剤を塗布し、各部材を接着します。

排水ソケットとアジャスター部の接続のときは、凹部と凸部を合わせてください。注意 6 参照 注意 7 参照

(2)排水ソケット後部のベロ部を切り取ります。



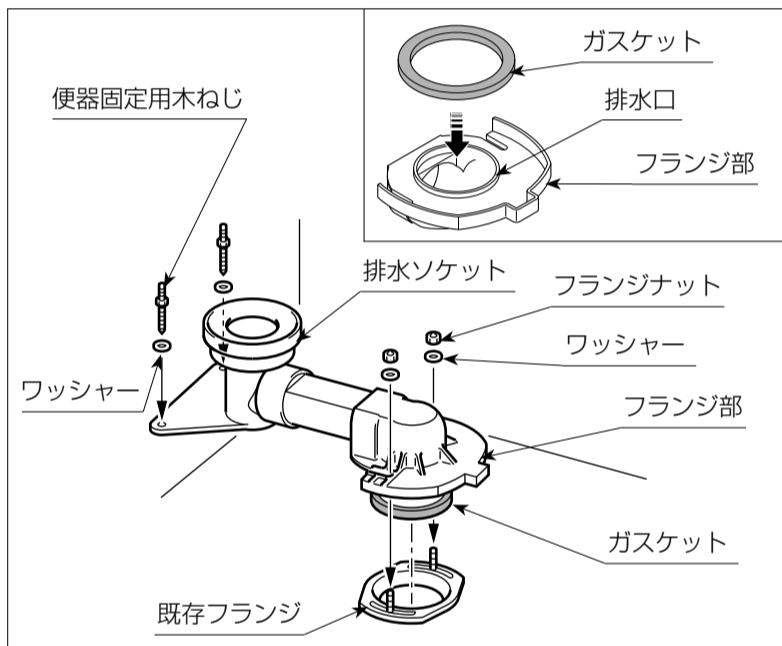
3. 排水ソケット・フランジ部の固定

(1)フランジ部の排水口にガスケットを付け、既存フランジにワッシャーとフランジナットで固定します。

注意 8 参照

(2)排水ソケットをワッシャーと便器固定用木ねじで固定します。

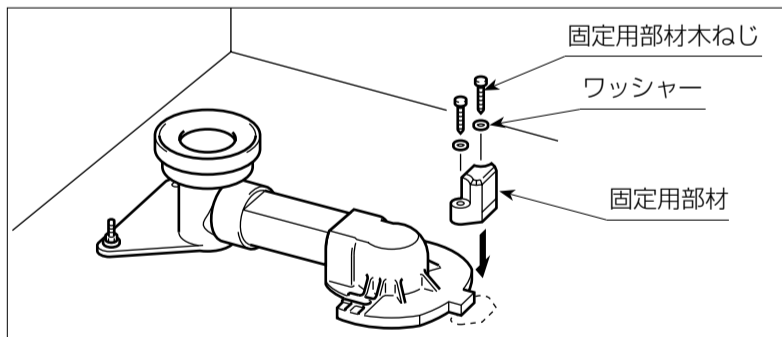
床がタイルまたはコンクリートの場合、下穴（径 11、深さ 55）をあけ、別売の AY ボルト（AY-86D）を使用します。



4. 固定用部材の固定

固定用部材をフランジ部の先端に当て、ワッシャーと固定用部材木ねじで固定します。

床がタイルまたはコンクリートの場合、下穴（径 11、深さ 55）をあけ、別売の AY ボルト（AY-23W）を使用します。

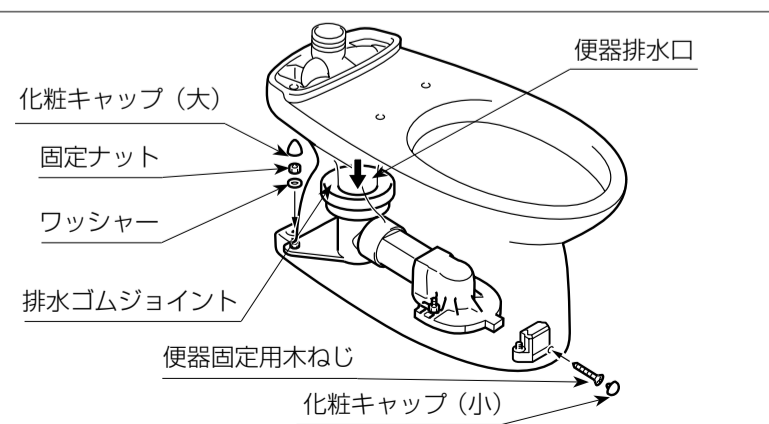


B 便器の固定

(1)便器の排水口を排水ソケットの排水ゴムジョイント部に差し込み、固定ナットにて便器を固定し、化粧キャップ（大）を取り付けます。

(2)便器前方から便器固定用木ねじにより固定し、化粧キャップ（小）を取り付けます。

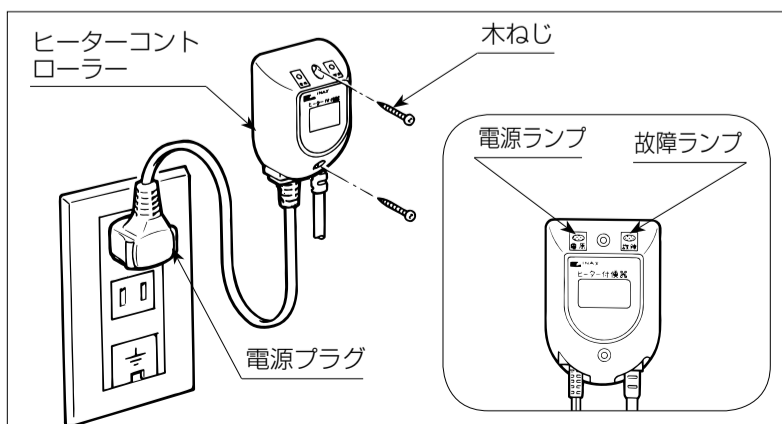
注意 10 参照



C ヒーターコントローラーの取付け (ヒーター付便器の場合)

(1)電源コードの長さを考慮してヒーターコントローラーの取付位置を決め、木ねじにて固定します。

(2)電源プラグをコンセント（交流 100V）に差し込み、電源ランプが点灯（オレンジ色）、故障ランプ（赤色）が消灯していることを確認します。



注意 10

陶器に対するねじは締め過ぎないようにしてください。
※陶器が割れる恐れがあります。